

会議状況等報告書		報告者	高橋 宏幸
会議の名称	第2回 大府市緑の基本計画策定委員会		
日時	令和2年2月19日（水）14時00分～		
場所	会議室001、002		
出席者	樋口委員長、山内副委員長、服部委員、櫻井委員、水谷委員、島田委員、鷹羽委員、		
	美馬委員、林委員、能勢委員、深谷委員、稲吉オブザーバー 所氏、遠藤氏（株創建）		
	玉村部長、佐藤課長、深谷係長、松井主任、阪本主任、渡邊技師、高橋		
内 容			
1. 委員長挨拶			
<p>本日は計画の方向性、考え方の議論が中心になるかと思えます。先日、メディアで大府市の公園内禁煙化条例について取り上げられていましたが、緑に関わる者としては非常に良い取組なのではないかと思えます。将来このような公園があると良い、こんなものがあると良いというような思いでも構いませんので、皆様で緑の基本計画の考え方を決めていければと思います。よろしくお願いいたします。</p>			
2. 議題			
(1) 各回の議題と論点について（資料1）			
(2) 第1回策定委員会での主な意見と対応方針（資料2） について事務局より説明。			
(委 員) パブリックコメントにて市民の皆様からの要望があった場合には、第5回策定委員会 が実施される可能性もあることを皆様ご周知ください。			
(3) 次期計画策定にあたって（資料3）について事務局より説明。			
(委 員) 水や緑などの自然の多さに満足している市民の割合は、62.9%となっているがこの 数値はどれほどのものなのか。他都市で似たような指標があれば比較した情報が欲しい。			
(事務局) 現在、他都市の情報が無い為、次期策定委員会までに調べて回答いたします。			
(委 員) 農地があり、緑豊かな地域の方が、満足度が高いという結果が出ている。			
(事務局) この数値は市民意識調査の中で行われたものであり、数ある他の行政施策と比べると62.9%という数値は、高い数値となっている。			
(オブザーバー) 緑をまもるということについて評価するにあたって、市民の満足度とアダプトプログラム の団体数の2点だけではあまりにもデータが少なすぎる。 参考資料に、都市化の進行に伴い、身近な緑が減少傾向であると抽象的な記載がしてあるが、本来であれば以前と比べてどれ程緑が増えているのか、減っているのか。また、何故増減しているのか（開発行為の為等）を明確にするべきである。どの場所が大府市として力を入れて守る樹林地なのか、などデータからでは分からない。この情報だけで、課題や次期計画の方向性ということは見えてこない。 都市計画マスタープランを策定中で、都市づくりの目標、公園整備の方針と記載があるが、緑の基本計画へ反映されているのかが分からない。			
(事務局) 市民の満足度とアダプトプログラムの団体数以外の評価基準として、参考資料4の 9ページから13ページに、現行計画で立てた方針に基づいた施策の実施状況を整理してまとめております。			
(委 員) 緑の基本計画の対象にする緑がどこまで含まれているのかが見えてこないということもある。保全地区の記載はあるが、図示されていないためどこに分布しているのか分かるようにしてください。 都市計画マスタープランとの関わりについてはいかがでしょうか。			

(事務局) 都市計画マスタープランにある公園、緑地の整備方針について、施策の方針と整合性をとっております。

(委員) 方向性について3つの記載がありますが、3つの中で優先順位はありますか。

(事務局) 優先順位はありません。すべてが等しく重要です。

(4) 次期計画の基本的な考え方について(資料4)について事務局より説明。

(委員) ①基本目標2「緑をふやし、つなげる」にある、市民のニーズに合わせた新規公園の整備というのは、ワークショップのようなものを想定しているということでしょうか。

②緑化基金の内容を教えてください。

③基本目標1「緑をまもる」にある竹林整備について具体的に教えてください。

(事務局) ①その通りです。

②緑の関係で寄付をいただいたものを、シビックガーデンコンテストや学校のシンボルトリーなどに利用しています。

③柘山町地内で予算を申請中です。近くに小学校や保育園があるため、整備することにより今後の活用が出来ると考えております。

(委員) 緑化基金は市民の寄付だけで成り立っているのでしょうか。

(事務局) 一時期は、区画整理を行う際に、森林を壊して住宅地を作るということで、区画整理完了後に、市へ指定寄付という形で寄付をいただいたものを緑の再生のために、運用しています。

(委員) 基金の残高はどれほどあるのでしょうか。

(事務局) 2億円程になります。

(委員) 竹林整備について、次期緑の基本計画の期間10年の中でどのような方向性で考えているのか、現況を教えてください。

(事務局) 庁内の農政課が竹林マップというものを持っており、それぞれの竹林の現場を確認し、私どもの考えている場所に一番相応しい場所を吟味した結果、柘山町地内となりました。土地の所有者様が所有されている土地になるので、交渉から開始していくこととなります。一度にいくつも整備できるものではないため、市として効率性の高いところを手掛けていきたいと思っております。

(委員) 市としてこういった目標がありますか。

(事務局) まずは市民の方々に参加していただき、育む心を持っていただき、荒れた竹林を整備して緑に対する意識を変えていければと思っております。

(委員) 施策の「緑をはぐくむ」にも竹林整備が入ってくることになるのではないのでしょうか。

(事務局) その点に関しては、現在竹林整備が「緑をまもる」という基本目標に入っていますが、緑をまもるという視点だけではなく、「緑をふやし、つなげる」や「緑をはぐくむ」にもつながってくる可能性もあると考えております。

(委員) SDGsの観点で循環型社会の形成ということも含まれると思いますが、大府市では剪定枝を市民への配布を行い、薪ストーブ等に使用しているという話を聞いています。植物性廃棄物のリサイクルということも基本目標内に入れても良いのかと思いたいが、いかがでしょうか。

(事務局) ニツ池公園内に剪定枝のチップを撒いて、自然歩道として活用をしております。委員がおっしゃられた通り、剪定枝を薪ストーブ等で使用できるように配布をしておりますが、一般廃棄物となるため市内在住の方のみに配布をしております。チップの活用も基本計画に盛り込めれば良いかと思っております。

(オブザーバー) 資料4の施策体系案の、「施策方針、施策」について、黒字と赤字で別れているが、黒字は今の施策の実施状況で今後の方向性が「現状維持」のもの、赤字が「強化」や新しい施策についてのもの、となっていると思われるが、色分けをしている理由を説明すべき。現状維持については、目標まで達していないから引き続き行うのか、順調にいったいるがこれからも続けていくべきなのか、詳細が不明。強化についても、

現在進んでいないから強化する必要があるのか、効果が高いから引き続き強化するのか、詳細が不明。また、新たに追加した項目はどのような要因で追加したのか、ということも詳細が不明。このあたりの詳細が分からないとこれからの計画に繋がっていないかと思いますがいかがでしょうか。

(事務局) 赤字とした項目についての根拠、市の意向が分かるよう表記するようにします。

(オブザーバー) 今まで取組んでいない施策でも、他の自治体で行っていることや、職員がこれまでの経験から足りない部分を新たにチャレンジしていこう、等の理由を説明し、委員の方々に意見を聞いて、納得していただいた上で新たな取組として欲しい。

(事務局) 本委員会を開催する前に、市の職員が集まり作業部会を行い緑に関する事業に関する意見を各課よりいただいております。作業部会で出た意見を含め今回の資料を作成しております。その中で、事務局として一番取り組みたいと思っているのは、緑の質を向上させていきたいという点です。今までは緑を増やしていくということが主でしたが、開発が進む中で緑の減少は避けられないところから、緑の質の向上に重点を置いて取組みたいと考えています。具体的には、竹林、里山を整備することによりただの森林ではなく、公園等に変えていきたいと思っています。

また、多くの方に見ていただけるよう情報発信にも力を入れて取組んでいきたいと思っています。施策については、単独で4つの柱となっていますが、中には横断的な取組がありますので、こういったところも絡み合わせながら最終的な計画を作っていければと思っています。

(事務局) 部内で打合せをしている中で、出てきた話になりますが、大府市の中には公園のほかに緑道やウォーキングコース等、社会資源が揃っていると我々も感じているところです。ただし、市民の方々への周知ということが出来ていないということも感じております。参考資料2にあります緑を取り巻く社会情勢について、緑のポテンシャルを活かすという施策が必要であるとうたわれているため、資料4の基本目標4の「緑を豊かな暮らしに活かす」の中に、水と緑に関する情報発信（シティプロモーション）を入れさせていただき重点項目であると思っています。

もう1点、先程オブザーバーからもご指摘があった、参考資料4の9ページ以降の施策の実施状況について補足させていただきます。現状維持については、わずかながらでも増加している傾向については維持をする。強化については、現状よりもさらに加速度を上げて強化していきたいということとなっております。

(委員) 市民の皆様への見せ方の問題かと思いますが、資料4の基本目標が「緑をまもる」から始まっており、人と人との繋がりが出せない方針が目立ってしまう。事務局の説明で力を入れて取組たいことを聞いていると、「緑をまもる」を下にもっていても良いのではないかと思います。人と人の繋がりに見せていった方が、読む人も読みやすくなると思います。

(委員) 今事務局から説明されたことを、市民の方々に広く知っていただくために、市民の方々が大府には素晴らしい資源があって、使うことが大切であるということが分かるキャッチフレーズを考えてアプローチをしていくことが大切ではないでしょうか。一つ一つの表現の仕方を考えていくと市民の方々にも分かりやすくなると思います。

(委員) 大府市は将来どうしていきたいのかという理想像が分かりづらい。現行計画でいくと参考資料4に目指すべき緑の方向性が記載してありますが、面としてしか書かれていない。先程説明いただいたウォーキングコースやため池、公園等は住居系の地区にも多くあるはず。住居系の地区にどれだけ緑を増やしていけるかが重要になるかと思っています。施策体系の基本目標4は他の基本目標と重複することが多いため、緑を活かすという新しい目標について独自のものをつくっていただきたい。

市内の緑を守る活動を推進する体制が整っていないということが、第1回策定委員会でもありましたが、市民との協働という観点について、今後の取組としてはどのように考えているのか。

(事務局) 地区の代表の方から花を植えることは出来るが、維持管理していく上で、水が近くに無い、雑草を誰が抜くのか等が課題になっていると伺っている。それを受けて、作業部会で出た対応案としては、水道を引く、ため池の水を利用する等ができるよう本計画内で取組んでいければと思っています。このような取組を本計画内でどう行っていくかということが、今までの計画では欠落していたことだと感じていますので、次期計画では取組んでいけるようにしたいと思います。

(委員) 大きい考え方として、市民の緑化意識を促進するという意味でも是非とも、取組んでいただきたい。

(事務局) 環境課が第3次環境基本計画を策定中であり、緑花公園課と連携を取って策定を進めています。緑の基本計画がハード面、環境基本計画がソフト面の計画となるので、お互いに密に連絡を取り合いながらやっていくことで、協働の部分に関しても上手く取組めたらと思っています。

(事務局) 環境基本計画は環境全般の計画となるため、広い分野になりますが、計画の中の一部には緑に通ずる部分があるため、整合を取りながら進めていきます。委員長よりご指摘のありました体制づくりについては、漏れているかと思しますので、計画内に設けていけるよう再度検討をいたします。

(委員) 次回策定委員会では、今回の意見を踏まえた施策体系についてが主な議題となります。

(委員) キャッチフレーズについて、ご意見がある方お願いします。

(委員) 文字数を少なくして、分かりやすくインパクトのあるものにした方が良いでしょう。

(委員) 現状では決め兼ねるので、事務局で方針を基にキャッチフレーズを2案ほどに絞っていただいたうえで決定してはどうか。

(委員) 策定を進めている中で、事務局がどうしたいのかという意志が見えてこない。想いが伝わってこない。10年間でここまでやる、やりたいという想い、考え方が伝わってくるような内容にしていただかないとキャッチフレーズも出てこない。この内容のままでは良いキャッチフレーズは出てこない。

(委員) 基本目標に囚われすぎているため、考えが狭くなっているのではないかとと思われる。現在の施策をベースに、読み手にもっと伝わりやすい施策を再検討していただきたいと思えます。

(委員) キャッチフレーズが思いついた場合は、提案して良いか。

(事務局) よろしく願いいたします。

(委員) アダプトプログラム団体の管理回数の記載があるが、普段見かける頻度とは違いがある。

(事務局) 報告等の義務を設定すると、アダプトプログラムに登録することを敬遠されることもあるため、団体からの報告は特に受けていません。そのため、管理回数が多くなっている団体、少なくなっている団体があります。

(委員) 大府市は緑が多い町という認識をしていない。どこを中心として緑の多い町としているのかが分からない。子供たちにしても分かっていないであろうと思う。大府は緑が多いということを広めていくためのキャッチフレーズとするならば、漢字を並べるのではなく、「まもる」「ふやす」「まなぶ」といった単語を繋げていった方が、誰にでも伝わるものになると思います。

(委員) 本日はたくさんのご意見をいただき、考えつかなかったこともありましたが、今一度事務局で内容を精査し、反映させていきたいと思えます。基本目標4がメインになっていくと思えますので、上手く表現していきたいと思えます。定量データが少ないという点はもっともだと思っておりますが、見せ方もあるかと思えますので、もう一度事務局で分析させていただき、反映させていただきます。

竹林、桜、緑道整備、ウォーキングは特に市長が力を入れている事業になりますので、計画内で大府市の特徴を発信できるようにしていきたいと思えます。

(委員) 今の基本目標をベースにもっと分かりやすく、伝わりやすく計画を作っていただきたい
と思います。

3. その他

(事務局) 今後の予定について

第3回緑の基本計画策定委員会 令和2年4月17日(金) 午後2時から

第4回緑の基本計画策定委員会 令和2年5月15日(金) 午後2時から